



発行所
社 福島県電設業協会
発行人 松崎 勉
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県電設会館)
TEL (024) 533-6226
FAX (024) 533-6235
編集印刷 株式会社建設工業新聞社
福島市西中央2-59

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

際立つ明るさ
驚きの高効率
T.LEDs

E-CORE
高効率LEDダウンライト(11-CORE)

際立つ明るさ 265lm	驚きの高効率 50lm/W	抜群の省エネ性 電機省約17%
-----------------	------------------	--------------------

東芝ライテック株式会社
http://www.tli.co.jp/
郡山営業所 TEL (024) 922-5511

第32回通常総会

事業計画 地域貢献を軸に展開

信頼される技術集団として

当協会は五月二十三日、福島市のホテル辰巳屋で第六十二回通常総会を開いた。公益法人制度改革に伴う一般社団法人への移行と定款、関連諸規則の変更、整備を承認。六月末を目指して移行認可申請の準備を急ぎ年度前半の認可、十月の登記申請を目指す。会員の収益基盤の確立や事業戦略の推進など震災からの復興を踏まえた新年度事業計画を決定した。



松崎会長

議長に先立ち松崎勉会長があいさつし、震災以降の会員の対応や全国各地からの支援に謝意を示すとともに「こうした状況下では、建設業は真先に必要とされる。協会が目指す信頼される技術集団



一般社団法人への移行を承認した総会



橋本課長



野内次長

来賓の野内忠宏県土木部次長、橋本隆福島市建築住宅課長が「ふくしま

平成二十四年度事業計画に基づく各委員会の主要な実施事業は次の通り。
■コンプライアンス委員会
【関係法令、関係諸制度等に関する事項】
①コンプライアンスの徹底と企業の社会的責任(CSR)の取り組み強化
②コンプライアンスの推進に係る基本方針、推進計画の策定
③会員行動方針の遵守の研修
■総務委員会
【経営強化・事業量確保】
移行

①行政機関への事業量確保の要望活動
②分離発注の推進、地元企業活用
③公共工事の要望活動
④会員の技術力向上に係る要望
④行政機関との意見交換
⑤災害協定に基づく災害対応訓練
⑥企業経営に関する講演・講習会
⑦県建設産業団体連合会との連携
⑧日本電設工業協会との連携
【公益法人制度改革】
①新公益法人制度への移行

【各証明書発行】
①大規模災害時の応急対策応援に関する協定
②協会継続教育事業(CPD)
【技術・安全委員会】
①創エネ、省エネの技術開発・取り組み強化を進め「電気の家」
②環境負荷の少ない社会形成への取り組み
③自然環境の活用
④新エネ活用(雪氷冷熱、太陽光

発電、風力発電)▽省エネ
①負荷の制御(照明、換気、空調システム)▽
②エネルギー・資源の有効活用(昼夜連動制御、動力の省エネ、照明方式、自動制御など)
③設備工事の技術開発、実用新案の取得(新技術情報提供システムへの登録など)
④ESCO事業の調査研究
【会員の技術力向上】
①各種研修・講習会
②各種調査研究、先進地視察
③協会継続教育事業への取り組み強化(認定証明書発行)
④各種資格取得への取り組み強化
⑤県総合設備協会との連携
⑥親睦事業の企画・運営

関係法令・諸制度の研修・講習会
■広報委員会
【ボランティア活動・災害時の取り組み・啓発広報活動】
①大規模災害時における応急対策の応援協定の普及啓発
②「道路ふれあい月間」運動の道路美化運動への参加
③東日本大震災被災地への復興支援
【啓発活動】
①機関紙「電設新聞」発行(年6回)
②会員名簿発行
③協会ホームページの整備
④業務用図書の発行
⑤資格取得試験の推進
⑥賛助会員の募集
⑦親睦事業の企画・運営

各委員会の実施事業

県土再生へ決意新たに 来賓を迎え懇親会開く



総会後の懇親会であいの松崎会長は「この質が問われる。いかに



小野建産連会長

田畑光三県建築士事務所協会長の発声で乾杯し、県土再生への決意を新たにされた。

た。実施事業として①コンプライアンス徹底と企業の社会的責任(CSR)の取り組み強化
②事業量確保対策
③分離発注の推進、地元企業活用
④の要望活動、災害協定に係る要望活動
⑤災害対応訓練
⑥技術革新、新分野への取り組み
⑦「電気の家」としての安心サポート体制整備、新・省エネなど環境低負荷社会形成への取り組み
⑧設備工事における技術開発、実用新案の取得、ESCO事業に関する調査研究
④会員の技

援などボランティア活躍などボランティア活躍、災害時への取り組みを盛り込んだ。
専務理事に大内氏
新しい理事に大内厚氏
大内氏は専務理事に就いた。
「被災地でも安全が担保される電気設備を提供するため、揺るぎない自信をもって対応できるように、あつことなく技術研さんに努めたい」と述べた。
小野利廣県建設産業団体連合会長が「県産連としても県土の復興・復興へ全面協力するとともに建設産業が抱えている労働単価、適正な建設生産システムの構築、入札制度改善などに真摯に取り組んでいきたい」と祝辞を述べた。

Panasonic
ideas for life

LEDの光に、かつてない美しさ。

革新LED
EVERLEDS
エバーレズ

※商品画像はイメージです。

お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 東北電材営業部 福島電材営業所
〒963-8024 福島県郡山市朝日2丁目5-15 TEL.024-939-7731

詳しくはホームページで www2.panasonic.biz/es/everleds/

県土の復興へ一丸

県建産連 新年度事業決める

県建設産業団体連合会（小野利廣会長）は六月一日、福島市のホテル辰巳屋で第二十八回通常総会を開き、「東日本大震災、新潟・福島豪雨、台風一五号等の頻発した自然災害からの復旧・復興、原発事故からの復興のた



事業計画などを審議した今年度総会

めの除染等への積極的参加協力」などを柱とする今年度の事業計画を決めた。当協会から松崎勉会長が出席した。小野会長は出席者を前に「県では、今年を復興元年と位置付け、復旧・復興を加速化していくと

しており、建産連としても構成団体が一丸となって協力していく必要がある。また、度重なる自然災害で防災・除染措置の重要性が立証されており、遅れているインフラ等整備の必要性をさらに訴えていきたい」と述べ、「地域経済活性化や建設産業の健全な発展を推進していくためには、県の入札・契約制度の不断の見直し、設計積算、元下関係の適正化が不可欠だ。これら山積する諸課題を克服するため積極的に事業展開していく」と協力を求めた。

来賓の遠藤光一県土木部技監が「東日本大震災や豪雨災害など、昨年は本県にとって極めて厳しい一年となった。建設産業に携わる皆さんは、自ら被災されているにもかかわらず、震災直後から緊急車両の通行のための道路の確保や心身仮設住宅の建設など、本県の復興・復興に向け格別のご尽力をいただき感謝している。今年には本県の復興元年となる。新生福島をつくり上げていくためにも、公共土木施設の復旧や津波被災地における復

興まちづくりをスピード感を持って進めなければならず、直接の担い手である建設産業界の皆さんの力が不可欠」と知事の祝辞を代読。斎藤勝利県議会副議長、渡部諭東北地方整備局建設部建設産業調整官、金子恵美・森

まさこ両参議院議員も祝辞を述べた。議事では①東日本大震災、新潟・福島豪雨、台風一五号等の自然災害からの復旧・復興、原発事故からの復興のための除染等への積極的参加協力②生活基盤の整備充実、

自然災害に強い県土づくり推進③県内経済活性化のため県内建設産業の振興促進、イメージアップ広報、適正な入札契約制④設計積算の確保推進⑤建設業法等関係法令の順守、適正な建設生産システム確立推進⑥技術

力・経営力向上のための各種研究会開催⑦建産連構成団体間の相互理解・協調・連携等推進⑧NP法人循環型社会推進センター事業協力⑨の七項目を重点目標とする今年度事業計画を決めた。

耐震、省エネ念頭に 復旧・復興技術連絡会議

「県公共建築物にかかればならない」とあいさつ

「県公共建築物にかかればならない」とあいさつした。同会議は、民間団体が実施する最先端の技術講習に、県や市町村の特に若手職員が参加すること

で、民間と共通認識を持ち意思の疎通を図ろうと、昨年九月に設立。年度後半に県建築士事務所協会（建築士事務所キャンペーン・新技術新工法講

習）、県設備設計事務所協会（照明設備、停電時蓄電システム等紹介）が主催した講習会等を同会議の共催とした。今年度は夏、秋、冬の三期に分けて開く。テーマは①耐震補強技術・工法②照明器具・空調機器類等二次部材の耐震対策③節電効果を考慮した省エネ・新エネ等対策④木造化・木質化に対応した新工法技術⑤県内産建築資材の活用⑥被災状況を踏まえた復旧対策への新たな技術提案等を挙げて

「施工品質の向上、公共工事の円滑な実施の制をはじめ、行政情報共有化、技術力向上として県建築関係工事積算基準・単価表の改正、建築・設備工事の積算上の参考見積り収集方法の変更、工事書類の簡素化等に関する具体的な情報を提供している。大内厚専務理事は、

技術・技能を継承 日本電設工業協会総会

日本電設工業協会の第

六十二回定時総会は五月十六日、東京のホテルで開かれ松崎勉会長が出席した。新年度は連携のもと、技術・技能の継承と人材の確保育成、適正で合理的な受注・工事環境の確保と二層の分離発注推進に努める。

決算を承認、二十四年度事業計画・予算を決めた。事業計画では運営に関する事項として会員大会決議事項徹底のための諸活動、官公庁との意見交換会開催など。

新年度事業決める

日本電設工業協会東北支部（東北地区協議会）の第五十五回通常総会が五月十八日、仙台市のホテルメトロポリタン仙台で開かれた。二十三年度会務報告・

資材関係では電設資材の製造・販売業者との連携・情報交換を促進させる。

メールマガジン配信 会員対象に行政情報など

当協会は五月十六日、情報共有化、技術力向上から「福島県電設業協会メールマガジン」の設備施工の実現につな

配信を開始した。会員を対象に業界の最新情報や国・県などの行政情報をタイムリーに発信し、会員のこと、コーナー④編集

「施工品質の向上、公共工事の円滑な実施の制をはじめ、行政情報共有化、技術力向上として県建築関係工事積算基準・単価表の改正、建築・設備工事の積算上の参考見積り収集方法の変更、工事書類の簡素化等に関する具体的な情報を提供している。大内厚専務理事は、

資材関係では電設資材の製造・販売業者との連携・情報交換を促進させる。

資材関係では電設資材の製造・販売業者との連携・情報交換を促進させる。

人と環境を明日につなぐ、ニノテックのシステムエンジニアリンク

情報・通信・制御・計装

株式会社ニノテック

NINOTEC 代表取締役社長 樽川 啓

本社/〒963-8577 郡山市島二丁目44-2
TEL (024) 935-1700 FAX (024) 935-1706
拠点/仙台支店・いわき営業所・福島営業所・棚倉出張所

換気扇・照明器具・空調機
オール電化品・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社

福島支店

TEL (024) 959-6060
FAX (024) 959-6066

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一

TEL (024) 581-5811
FAX (024) 581-5688

ヤンマーエネルギーシステム株式会社

いわき営業所

ディーゼル発電機 ガスタービン
コージェネレーションシステム

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社

【本社】
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

白河/TEL (0248) 27-3385代
須賀川/TEL (0248) 72-7136代
賀茂郡山南/TEL (024) 952-5455代
郡山南/TEL (024) 923-3298代
郡山北/TEL (024) 939-3081代
津会原町/TEL (0242) 37-2660代
馬場町/TEL (0244) 22-5105代
相馬/TEL (0244) 35-1234代
福島東/TEL (024) 546-3700代
福島南/TEL (024) 553-1181代
いわき南/TEL (0246) 28-6111代
勿来/TEL (0246) 62-3122代

山形・茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟
電材営業所 45ヶ所
住設建材営業所 9ヶ所

2度目の鯉のぼり作戦

会津支部 子どもたちを笑顔に

当協会会津支部（佐藤 脩一支部長）は東日本大震災で会津地域に避難した子どもたちに夢や希望を与えたいと四月二十三日、子どもたちが通っている会津若松市と会津美里町の小学校に鯉のぼりを掲げた。

何かと不自由な避難所生活、気候風土の異なる会津で慣れない学校生活を送っている子どもたちに元氣と同じような笑顔を取り戻してほしいと「鯉のぼり作戦」と

銘打ち取り組んだボランティア活動で、昨年に続いて二度目。

鯉のぼりは会津若松市民の善意で贈られた約六十四匹。作業は千葉電機商会、目黒工業商会、秋生田電設、佐藤電設、玉川エンジニアリング、富士工業商会、会津電気工業会、会津電力など七社が協力し、高所作業車五台を使って丸一日かけて準備。会津美里町の高田小学校と新鶴小学校および新鶴中学校の三校、会津若松市の河東第三小学校を合わせて四校のグラウンドに鯉のぼりを掲げた。

会津美里町には榎葉町や大熊町など双葉郡から避難した子どもたち八十人が通学している。

掲揚式は、高田小学校で行われ、子どもたち十二人と会津美里町教育委員会の佐治和則教育長、渡部隆一高田小学校長、設置作業を行った会津事業所代表らが出席した。



鯉のぼりの下で全員が記念撮影

佐治教育長が「電気を届けたいと取り組んでくれた会津の人たち、みなさんに元氣を」

「大空を泳ぐ鯉のぼりを届けたいと取り組んでくれた会津の人たち、みなさんに元氣を」とお礼の言葉を述べた。佐藤支部長は「一日も早く以前の生活を取り戻せるよう願っています。先生方やご両親の言う事を良く聞いて、自分力を信じて運動会も頑張ってください」と子どもたちに

励ましの言葉を贈った。鯉のぼりは、各校で五月中旬にかけて運動会が行われたため高田小が五月十五日、新鶴小と新鶴中が同二十八日まで、河東第三小は同五日まで掲揚された。

第2回会員研修旅行 京都と奈良をめぐる



第二回会員親睦研修旅行は四月八日から十日の日程で行われた。

「千年の古都・京都と太古ロマン・奈良」をテーマに会員二十八名が参加した。一日目は県内各地から新幹線で京都に到着、一般公開されている京都御所に参詣、国宝三十三間堂、六波羅密寺を見学、河原町を散策した。二日目は世界遺産金閣寺と鳴き龍で有名な相国寺を回り奈良へ移動。東大寺、唐招提寺、薬師寺を見学した。三日目は法隆寺、高松塚古墳めぐり、いにしへの昔に思いをほせ親睦を深めた。

※大槻電設工業株式会社 博太社長は紹介済み

新代表者紹介

高柳電設工業株式会社

代表取締役社長 國津 一洋



郡山市出身。昭和三十六年八月生まれの五十歳。県立安積高校から明治大学法学部に進み、(株)大林組に勤務後、平成二十年十一月に高柳電設工業(株)入社。趣味は、エレキギター・水泳。地域、社業発展のため、「人」をキーワードに、次世代の担い手を育てています。ご指導、鞭撻、宜しくお願ひ致します。

岩電機工事株式会社

代表取締役 蛭田 淳



いわき市出身。昭和四十五年四月生まれ。座右の銘は「倉庫裏ちて則ち礼節を知り、衣食足りて則ち采擧を知る」自分への戒めにしていきます。趣味は読書、海外個人旅行。在、仕事の傍ら、埼玉大

新会員紹介

株式会社森口電気商会

代表取締役 森口 和広



耶麻郡猪苗代町出身。昭和二十七年六月生まれの六十歳です。昭和四十二年に、今は亡き父が当地で電気工事業を始め、四十五年になります。

私が会社を引き継いだのは、平成五年であり今年で十九年目となります。地域に根ざした「電気屋さん」をモットーとして今までまい進してきました。

協会の動き

- 【4月】
 - 4日・第1回技術委員会、広報委員会、総務委員会/協会(全委員)
 - 8日~10日・第2回会員親睦研修旅行/京都奈良方面(28名参加)
 - 19日・第1回監事会/協会(坂本会計担当副会長、全監事)
 - 21日・県の工事書類の簡素化についての説明会/ウィル福島(講師:大内参事54名受講)
 - Master制度勉強会弱電⑤/ウィル福島(車田技術・安全委員)
 - 25日・第1回理事会/ホテル辰巳屋(全理事)
- 【5月】
 - 8日・福島県総合設備協会「各団体長会議」「監査」第1回理事会/協会(各役員)
 - 19日・Master制度勉強会:弱電⑥/ウィル福島(高橋技術・安全委員)
 - 23日・第62回通常総会・懇親会/ホテル辰巳屋(全会員)

電気設備の総合メンテナンスは当協会に!

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

一般東北電気保安協会

財団法人

福島事業本部	福島市矢野町1-22	☎(024)526-1311
福島事業所	福島市矢野町1-22	☎(024)526-2111
原町事業所	南相馬市原町区上流佐字原田432-1	☎(0244)22-3568
郡山事業所	郡山市富田町福川原1	☎(024)932-6054
白河事業所	白河市東三坂山2-47	☎(0248)22-6066
いわき事業所	いわき市好間町上好間字洞42-1	☎(0246)36-1177
若松事業所	会津若松市北町大字上荒久田字村北147	☎(0242)32-3350
田島事業所	南会津郡南会津町田島字南下腹66-1	☎(0241)62-4847

電気技術総合コンサルタント!!

自家用電気施設のごことは、お気軽に、ご相談下さい。

一般社団法人 **東北電気管理技術者協会**

TEL(022)261-6015

福島県支部/いわき市平赤井比良3-20	☎(0246)21-5516
福島電気管理センター/伊達郡国見町藤田字日渡2-1	☎(024)585-2572
郡山電気管理センター/田村郡三春町大字平沢字高戸屋32-1	☎(0247)62-6490
会津電気管理センター/喜多方市塩川町会知字八幡町3050-1	☎(0241)27-7664
相双電気管理センター/南相馬市原町区仲町一丁目157	☎(0244)22-2817
白河電気管理センター/石川郡浅川町大字浅川字本町113	☎(0247)36-3712
いわき電気管理センター/いわき市平泉崎南集25-3	☎(0246)34-5551

屋内外用 最軽量LEDランプ

LED IOC レディオック LED アイランプ

LEDアイランプ

160W反射形セルフバラスト水銀ランプと同等の明るさの屋内外用18W最軽量LEDランプ

ランプ交換により消費電力は **約1/10の省エネ**

世界初! オール樹脂製!

岩崎電気株式会社

TEL 963-8046 郡山市町東3-103

TEL 024 (961) 2292(代)

http://www.iwasaki.co.jp/

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器 電線管及び付属品・電線資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13

TEL (022) 783-8181

■福島営業所	福島市瀬上町字桜町3-12-3	☎(024)553-8551(代)
■福島西営業所	福島市大森字街道下57-1	☎(024)544-6228(代)
■郡山営業所	郡山市大槻町下町東52	☎(024)961-6667(代)
■郡山南営業所	郡山市大槻町下町東52	☎(024)961-6667(代)
■白河営業所	西白河郡西郷村大字米字中山前84-10	☎(0248)21-1971(代)
■原町営業所	南相馬市原町区北原字本屋敷153	☎(0244)23-6106(代)
■相馬営業所	相馬市椎木字北原104-1	☎(0244)35-6350(代)
■いわき営業所	いわき市鹿島町御代字大一田1-1	☎(0246)76-1055(代)
■平営業所	いわき市平塩字出口43-5	☎(0246)35-6481(代)

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社

東北電材社

福島支店

福島営業所	TEL (024) 553-4165
郡山営業所	TEL (024) 934-3065
いわき営業所	TEL (0246) 75-0700

技術と信頼を誇る

電気、機械の総合メーカー!!

DAIZEN

大全電機株式会社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号

TEL (022) 288-0701代 FAX (022) 288-0705

福島支部

新支部長に大槻氏

さる四月十八日に福島市のホテル辰巳屋にて平成二十四年度福島支部総会が十二社出席のもと開催されました。

議事に先立ち渡邊支部長より挨拶をいたしました。引き続き議事に移り、平成二十三年事業報告書並びに収支決算報告書を承認。平成二十四年度事業計画(案)並びに収支事業予算(案)が審議され全員一致で承認され、平成二十四年度の実施事業が決定いたしました。

いわき支部

復旧・復興に貢献

早いもので、あの震災・原発事故以来一年が過ぎ、人々の生活も落ち着きを取り戻してまいりました。

今年度は、八月に恒例となっている「いわき市民総ぐるみ清掃事業」に参加、十月には支部の研修旅行を実施いたしました。また、今年度は復興事業が民間・官庁等から発注されることが予想さ

郡山支部

災害の恐怖再び

東日本大震災から二年二カ月が経ちますが、今思い出ししてもあの時感じた恐怖は忘れられません。

子供の頃、祖母から「地震・雷・火事・親父」と言う諺を聞いた事を不意に思い出しました。昭和三十一年に常葉大火(※)があり、強風のせいで町の中心部は焼け野原になり私の家も跡形なく燃えてしまいました。

相双支部

陸の孤島の現実

常磐自動車道相馬ICと南相馬IC間一四キロが開通し、四月八日から運用開始され暫定措置として無料で通行が可能となっております。

日本の電力不足と電気料金の値上げについては、円高を含め日本経済に大きなダメージとなつていまして、不安な毎日ですが、会員一同健康に留意してこの難局を乗り切っていきたいと思います。(三浦電気工事(株)・三浦光博)

白河支部

事業は地域貢献等

四月下旬、白河市内で支部総会を開催しました。役員改選では支部長石川氏。技術委員会車田昭氏。広報委員会浅川誠吾を再任。石川支部長より、「支部運営が大変厳しい状況ではあります。皆様のご協力のもと頑張っていきたいと思います」との話がございました。

お願ひ④白河地区「せせらぎの会」ボランティア清掃活動への協賛参加⑤「矢吹電友会」ボランティア清掃活動への協賛参加⑥「白河地区」素(そ)餐(さん)しい(しい)さん(さん)の思いです。皆様のご指導、ご協力の程お願い申し上げます。(浅川電設・浅川誠吾)

会津支部

地域社会との共栄

会津支部はさる四月二十三日、昨年に引き続き震災で避難している子供達に通う小中学校(四校)にボランティアで鯉のぼりを掲揚しました。

このような厳しい時代だからこそ、建設業界の役割を大いにし、一歩一歩地域と共に歩んでいきたいと考えております。(佐藤電設・佐藤春幸)

編集後記

先日、福島市のあづま総合体育館にて行われた小田和正さんのコンサート「2011〜2012 どもども」その日が来るまでに行っていました。

小田さんは一九四七年九月二十日生まれの六十四歳ということで、私も人生の先輩にあたりますが、アグレッシブに会場内を駆け回る姿を拝見して、感動と勇気を頂きました。

未曾有の東日本大震災や原発事故、豪雨など自然災害などにより、暗い心境が片隅にあるのは事実ですが、このような状況だからこそ私達は大切なライフラインである「電気」というものを扱う電気設備工事業者としての誇りを持ち、小田さんのように元気に前を向いて精進していこうと再認識した一日でした。(車田電気工業(株)・車田昭)

機能アップ Superラインチェッカ TLC-C形 株式会社 戸上電機製作所 東北オフィス TEL 022-295-5571 FAX022-295-5573

最新鋭 CIM CAD+CAM 株式会社 山形電機製作所 TEL 023-686-4316 FAX023-685-1011

労働保険年度更新のお知らせ 事業主の皆さんへ 平成24年度の労働保険の年度更新期限は七月十日です。

東和電機工業株式会社 URL http://www.towagp.co.jp/ 受配電制御システム設計製造 中央監視システム設計

LED蛍光灯 交通・鉄道信号/駅務機器 地中埋設物探索レーダ 駐車場機器 日本信号株式会社 東北支店

配電盤 制御システムメーカー FURUKAWA 古川電気工業株式会社 郡山支店 支店長 小野寺 優